



学校教育目標

あかるく すなおな 五小の子

目指す児童像

自分の考えをもち、わかりやすく伝え合することができる児童

自分の大切さがわかる児童、友達のよさがわかる児童

筋道を立てて考えることができる
わかりやすく人に伝えることができる
友達の考えを聞き、自分の考えをよりよくすることができる

気持ちのよい返事やあいさつができる
自分に自信をもって学校生活を送ることができる
一人一人のよさをすなおに認め合することができる

組織目標

児童一人一人が**笑顔**で**自信**をもって成長していくための教育活動を展開します

経営の重点

基礎・基本の定着と思考力・表現力の充実

- ・試行錯誤、アウトプット、振り返りを工夫した授業の充実を図ります
- ・思考力、表現力を高めるために、ICTの効果的な活用を図ります
- ・考える時間、表現する時間を確保した分かる授業づくりに取り組みます

具体的施策

評価指標

県学力診断のためのテスト 県平均以上
学校評価アンケート「わかる授業」児童90% ・ 「ICT活用」児童 90%

お互いのよさを認め合える人間関係づくりの推進

- ・児童がお互いのよさを認め合い、一人一人の児童が自分のよさを発揮できる学級づくりに取り組みます
- ・児童が活躍できる場を与え、一人一人が笑顔で過ごせる学校づくりを行います

学校評価アンケート「なかよく生活」児童95% ・ 「学級集団」児童92%
Q-Uテスト 学級満足度73%

働き方改革

数値目標
月の超過勤務
全職員 45h以内

自己の健康管理・体力づくりの推進

- ・持久力を高める運動の機会を設定し、運動の日常化を図ります
- ・健康な生活を送るための保健安全教育や食育の充実を図ります

体力テスト A+B 60%以上 ・ シャトルラン 県平均以上
学校評価アンケート「交通安全」児童100% ・ 「外遊び」児童80%

家庭や地域との連携、協働体制づくり

- ・学校、家庭、地域が連携協働し「地域とともにある学校づくり」を目指します
- ・コミュニティスクールと一体となった「学校ビジョン」の共有化を図ります
- ・ゲストティーチャー等の地域の教育力を活用します

学校評価アンケート「相談」保護者95% ・ 「情報発信」保護者90%
GTを活用した授業実践 各学年複数回

子どもたちの

成長を支える

3つの柱

未来の自分のために

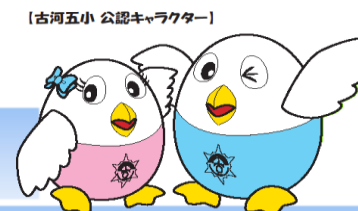
ESD(持続可能な開発のための教育)の視点に立った指導の工夫

今を生きる仲間たち

人権が尊重される学習活動づくり、環境づくり、人間関係づくりの日常化

地域の先達たちの力

家庭や地域とともに子どもを育てる コミュニティスクール・コミュニティあかしゃ・ごしょ丸・ごしょりん隊



〔古河五小 公認キャラクター〕